

令和2年9月号（令和2年8月撮影）

1. サンコウチョウ 【三光鳥】 （スズメ目カササギヒタキ科） 渥美半島にて撮影

全長は雄が約45cm（繁殖期）、雌が17.5cm。繁殖期のオスは、体長の3倍ぐらいの長い尾羽をもっています。毎年この時期になると、サンコウチョウが子育てをし、南の国へまた戻っていく準備をしています。写真の鳥は、雌のような感じですが、早く尾羽が抜けてしまった雄かもしれません。サンコウチョウを見たことがある人は、結構少ないと思います。それは、人里から少し離



れた、針葉樹と広葉樹が混じったような古い森に住み着くことが多く、巣を作る時に杉やヒノキの皮を使って巣を作るからのようです。目の周り、嘴のブルーが特徴的な鳥ですが、鳴き声もかなり特徴的です。前にも書きましたが、「月、日、星、ホイホイホイ」と鳴いているように聞こえるといわ

れていますが、私にはまったく聞こえず、「ホイホイホイ」のところだけ際立って耳につきます。名前の由来は、三つの光「月、日、星」からきています。もうすぐサンコウチョウ、キビタ



キ、オオルリ、アカショウビン等、南の国へ帰って行ってしまいます。帰ってしまう前に、また顔を見に行つてこれたらと思っています。因みにサンコウチョウも森の中で、昆虫を食べる、昆虫食です。雄がひらひらと長い尾羽をひらつかせ、飛んでいる姿は一見の価値あります